

頭部血管手術後3D画像



「頭部・腹部血管撮影装置」を導入

平成16年12月、血管撮影装置「ア
ンギオシステム」が導入されました。
この装置は、脳神経外科が行う頭頸
部血管造影検査や、放射線科が行う
胸部・腹部・四肢等の血管造影検査
に使用され、最新デジタル技術によ
り高画質画像かつ低被ばく線量で検
査を行うことができます。

血管撮影とは、鼠径(股)または
肘より直径3mm程度の細いカテーテ
ル(チューブ)を動脈または静脈の
目的部位近くまで挿入し、ヨード造
影剤を注入して血管を写す、X線精
密検査です。血管撮影後に治療(塞
栓術、薬剤注入、血管形成術等)を

行うこともあります。

今回導入された装置には、3D
ワークステーションが併設されてお
り、この3Dワークステーションを
使用することにより、血管の3D(立
体)画像を作成することができます。

得られた血管像は、360度の自
由な視点から観察が行え、動脈瘤の
形状確認や複雑に分岐する微細血管
と動脈瘤との正確な位置関係の把握
などに優れた効力を発揮します。

これにより、手術前のシミュレ
ーションをしたり、患者様にわかりや
すい説明を行うことができるという期
待されます。

透析室に癒しの空間作り



当院腎センター医療助手を中心に
行っている「透析室の癒しの空間作り」
が、全国自治体病院学会分科会推薦演
題に決定しました。

患者様やスタッフからのアンケート
をもとに、季節に見合うディスプレイ
などの癒しの空間作りを行い、「透析室
が明るくなった!」と大変ご好評をい
ただいています。

みなさまもぜひ一度、腎センターに
お立ち寄りいただき、癒しの空間を感
じていただくとともに、透析への理解
を深めていただきたいと思います。